

縄南中通信



平成29年10月 2日 発行

2017年度 第6号

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

東大阪市立縄手南中学校

校長 日比野功

縄手南(小中一貫)施設分離型義務教育学校(平成31年度開校予定)教育理念

「縄南道」による二十歳の成人式に

当たり前前の行動を当たり前前に実行できる人の育成

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」それで日本一？

縄手南が目ざすものは「日本一」です。この「日本一」への挑戦は、平成31年度に開校する義務教育学校にも引き継がれ、縄手南校区全体が目ざすものとなります。今、縄手南中学校で学ぶ生徒諸君は、今後は義務教育学校在校生の先輩として、また将来は地域に住む大人として、この「日本一」を目ざす一員として、地域活動や学校教育活動に協働して活躍して欲しいと考えています。

縄手南校区が目ざす教育理念は、『縄南道』による二十歳の成人式にあたりまえの行動を当たり前前に実行できる人の育成です。再度確認しますが、この「当たり前」のレベルを「縄南道」により高め、人として成長することを目ざしています。高い「当たり前」の感覚が身についていると、大人になっても必ずその「当たり前」の感覚が役に立つからです。「縄南道」では勝つ時には必ず「勝因」があり、負ける時には必ず「敗因」があると考えています。そして、「勝因」となる要素は「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」であり、「敗因」となる要素は「いい加減」「適当」「だいたい」です。中学校では今年度4月より掃除のあり方を変えました。掃除という活動の中に、自分で考えて掃除をすることや、最後に「振り返り」をする時間を設定し、「勝因」となる掃除の取り組みを始めました。夏休み明けもこの掃除についていろいろな先生が話されています。また2学期が始まる時には、「夏休み明けの9月が間違いなく1つの勝負のポイントである。」と伝え、その時にも掃除のことを話しました。こうして何回も、今年スタートさせた掃除について生徒諸君に伝えるのは、この掃除がおそらく今後の「縄南道」の進化のキーとなるからです。夏休み明けから1ヶ月たったいま、この掃除のレベルは高まっているのでしょうか。日本一を目ざす集団として、その意識はまだまだ「勝因」ではありませんので、再度、意識して実行し、身につけて欲しいと願っています。「今年の縄手南中学校の成長は掃除で測れる」と意識して、その質を縄南道部全員で高めて下さい。そして「当たり前」のレベルを引き上げて、さらに高い「空気感」を持った「縄南道」を創り上げて下さい。この掃除のレベルが半年後に高まっていたと仮定して、半年前の現在や1年前の今年度の最初を振り返ってみた時に、自分たちの「当たり前」のレベルが高まっていることを確信できる縄南道部としての集団であって欲しいと願っています。また「縄南道」では、「勝因」を創造する要素として、「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」を具体的に実行することとしています。指示を受けたら素早く素直に「返事」をすることは徹底できているのでしょうか。相手の気持ちを大切に「あいさつ」が身につけているのでしょうか。自分への気合いも含め、仲間を称賛する「声」をかけることができているのでしょうか。「ナイスプレー」「さぁ行こうぜ」「いいね」といった声かけです。無言の声もあります。例えば感謝の気持ちを重んじた「一礼」です。きちんと身に

ついででしょうか。0.1秒にこだわった行動、つまり「ダッシュ」が身についているのでしょうか。これらの問いかけに迷うことなく全員が「はい」と答えることができる時、「日本一」への挑戦の舞台に立っているということです。やりましょう！。今、頑張っていること、目指してしてることのレベルを高めましょう。必ず「日本一」の縄南道を全員で創り上げましょう！。

縄手南小学校の運動会から感じたこと

9月24日(日)、縄手南小学校の運動会を見せていただきました。6年生が中学校に登校して、中学校での学校生活の「空気」や、中学生がこだわっているラジオ体操に挑戦してくれている過程での縄手南小学校運動会です。を見せていただいて率直に、「素晴らしい。がんばっている。中学生もさらに高いレベルを目指さねば！」と感じました。義務教育学校開校に向けて「縄南道」が目ざすことが着実に小中で共有されています。本部席前で演技を指示される先生が指示台につく前後に、きちっと来賓の方々に対して「一礼」をされていたことや、スターターをされていた先生の姿勢が高い「空気感」をつくっていたことなど、本部席や観客席まで通じる場面が多くありました。頑張っている小学生の表情もとても良く、自然に拍手が起こりすべてに好感が持てました。見に来られていた保護者や地域の方々が、帰り道に「よかったなあ」と笑顔で直後の感想を話しながら歩いておられる場面にも遭遇しました。小学生のがんばりと縄手南小学校の運動会という「空気」がそのような会話を弾ませたのだと感じました。人は環境を創造し、環境は人を育てます。「縄南道」が創造する「空気」を感じて、「縄南道」で学ぶ児童・生徒が高いレベルへの挑戦を志していく過程であると感じた一日でした。

2017文化祭テーマは「Over The Top」～限界を超えて～

9月27日(水)の9年生学級劇予選に続き29日(金)、今年度の文化祭が開催されました。9年生の各クラス、7年生、8年生各学年、展示に参加した各クラブ、どんぐり学級、各教科等すべてにおいて、自分たちの取り組みに対して誇りを持てる発表だと感じました。縄手南は日本一を目指していますから、「縄南道」が取り組む文化レベルへの挑戦も示唆しました。「心で感じることを大切に「感性」を磨き、「文化レベルが高いとはどういうことか」と切磋琢磨しながら自らを磨き上げ、「縄南道」の素晴らしい伝統を築き上げて欲しいと願っています。



7年ボディパーカッション(左)と8年ミュージカル(右)

クラブ等の主な記録

陸上競技 中河内地区秋季大会 1年女子走幅跳 1位 西山楽夏 4m07 cm

サッカー 平成29年度東大阪市サッカー新人大会 3位

女子ソフトテニス 平成29年度東大阪市ソフトテニス選手権大会

女子個人の部 3位 川西美空・上野山陽香(9年)

吹奏楽 大阪府吹奏楽コンクール中河内大会 奨励賞

剣道 第51回東大阪市民大会 中学生女子の部 準優勝(西山結9年)3位 高居穂ノ花(8年)

大東市民大会 中学女子団体の部 準優勝(西山結9年 川上京香9年 高居穂ノ花8年)

中学3年女子の部 3位 西山結 川上京香、中学2年女子の部 3位高居穂ノ花

昇段 初段 齋藤夢心(9年)

第63回青少年読書感想文コンクール

東大阪市立中学校・課題読書の部入賞 杉本光旦(8年)「関孝和の努力」を読んで

東大阪市立中学校・自由読書の部入賞 格清美優(8年)「雨の降る日は学校に行かない」を読んで